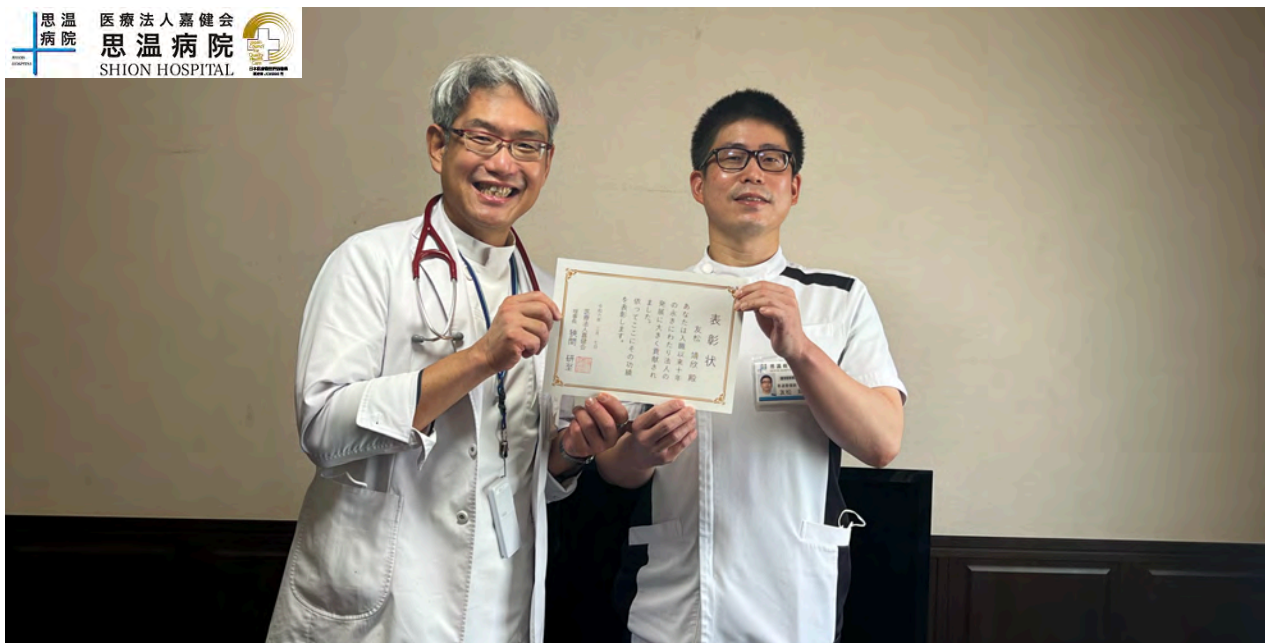


しおんだより VOL.41



当院での勤続10年目の表彰を行いました！

昔は、一旦入職した会社や組織には定年まで勤めるという、終身雇用が当たり前でした。しかし、そんな昭和の考え方が一般的だった時代はすでに過ぎ去っていて、その時々ライフステージにあった勤務先や雇用形態を選ぶことは、私たちにとって当たり前になってきました。

当院リハビリテーション科の友松靖欣さんです。10年前と比べて、当院も成長できているでしょうか？

しかし、そんな時代だからこそ、一つの勤務先で長く勤めていただけるということは、本当にありがたいことだと実感します。そんな気持ちを表すべく、当院では、一定の期間、ご勤務いただいた方を表彰する制度があります。

先日、当院リハビリテーション科で、柔道整復師としてご活躍いただいている友松靖欣さんが10年の節目を迎えられたので、表彰状をお渡しし、私たちの感謝の言葉をお伝えしました。

この10年間は、当院の運営形態が変わり、外科病院から現在のような高齢者の方に安心していただけるようなケアミックス病院へと変わるとい、まさに大変革の時代でした。そのような、いわば不安定な時期にも、当院を支えていただいた感謝の気持ちを込めて表彰状をお渡しし、記念特典であるリフレッシュ旅行についてもお伝えしました。これからも沢山のスタッフに長く勤めていただける病院運営を目指したいと思います。

当院リハビリテーション科での柔道整復師の役割

ところで、今回の記事を見て、「病院にも柔道整復師さんがいるのか!？」と思われた方もいらっしゃるかも知れません。確かに、柔道整復師さんは「ほねつぎ」という言葉でも分かるように、骨折や脱臼などといった、骨・関節・筋肉が関係する疾患の治療を専門とする医療資格です。



さすがに病院においてみずから骨折や脱臼の整復作業をすることはありませんが、当院ではその専門性を活かして主に運動器疾患といわれる身体の動きにかかわる部位の疾患について、認定を受けた柔道整復師が他の医療資格を持つスタッフとの指導・協力のもとでリハビリを行っています。

病院から退院できるようになるためには、リハビリテーションは極めて重要です。

それぞれの患者様に対応した最適なリハビリを受けていただくためには、他の医療と同様に多職種とのチームワークが欠かせません。医師や薬剤師、看護師や検査技師、栄養士といった他部門との連携はもちろん、当院では多様な医療資格を持つスタッフが在籍するリハビリテーション科ならではの特徴を活かして、リハビリ科内でも積極的に情報交換を行い、リハビリに役立たせています。

6年後輩の教授就任記念壮行会に行ってきました

先日、新しく兵庫医科大学呼吸器外科の教授になられたドクターのお祝いの壮行会があったので出席してきました。こういったお祝いの会は、今までも、何度か経験してきているのですが、いずれも私の先輩か、同期の先生でした。



しかし、今回は私が2001年、大学院生として大阪大学にいたときに、研修医として入局してきた、私の6年後輩の先生でした。結構タフな教授選になっているという噂は聞いていましたが、その実力が認められ、他学出身ながら、今回、新しく教授として選任されたということでした。

歴代・現役の教授も沢山出席された大変賑やかな会で、多くの先輩、後輩にも会いました。

後輩の奮闘や活躍ぶりを見て、お祝いの気持ちとともに、勇気と元気をいただいた壮行会になりました。私も、まだまだ頑張ります！（文責：狭間研至）

しおんだより 第41号 発行日：令和6年3月15日

発行人：狭間研至 発行元：医療法人嘉健会 思温病院

☎557-0034 大阪市西成区松1-1-31 電話06-6657-3711 HP: www.shion-hp.or.jp